

地域	東京都江東区	認定日	平成19年7月19日	3 - 19 - 090
事業分類	建設	テーマ分類	環境	

事業名：吹付けアスベストの乾式除去工法・除去作業の機械化・現場内で熔融無害化する事業

事業概要(新規性、市場性等)

- ・建物の解体工事現場から排出される吹付けアスベスト(レベル1)は、飛散性アスベストと呼ばれ、その廃材のほとんどは、2重袋詰めした上で、管理型処分場へ埋立て処理されている。しかし、処分場そのものの能力に限りがある上、運搬・処分時に作業員や第三者が曝露するリスクがある。
- ・本連携体は、これらの問題を取り除くため、モバイル型アスベスト除去システムを開発した。吹付けアスベスト廃材を水フィルターにより非飛散性化し、沈降したアスベストを絞り機で水分除去・減容し、電磁誘導にて1600℃以上で熔融無害化(ガラス化)する。最終的にアスベストをわずかに含んだ水も珪藻石を利用したフィルターで濾過し、且つ濾過物質も熔融無害化する現場完結型システムである。
- ・今後、システムの小型化やリモコン遠隔操作による除去機械の開発も進め、事業化する。

事業推進体制

技術支援

東京工業大学
有富教授

金融支援

東京東信用金庫

連携体の構成

工事請負

コア企業：渡辺解体興業(株)
(東京都江東区)
・解体工事請負
・アスベスト除去工事請負
・特許保有

開発・製造

愛知産業(株)
(東京都品川区)
・熔融機の開発・製造
・特許保有

製造・リース・修理

(株)ドゥイング
(千葉県市川市)
・除去機械製造
・システムの製造
・リース・修理

設計

(株)ウェitek
(神奈川県横浜市)
・システム設計・製造

支援予定メニュー

補助金
特許料減免



システム内部



熔融機

連携のきっかけ、特徴

本連携事業は、ニーズを持つ弊社(渡辺解体興業株)と東京工業大学教授有富氏の意見交換をきっかけに異業種である愛知産業株の技術とを組み合わせ、核廃棄物の処理技術をヒントに応用・実用化したものです。今回の連携は、五件の特許申請を伴うもので、社会問題化しているアスベストの除去から処理・処分までの一連の作業が現場完結型です。また、一方では除去・処理・処分の三分割したそれぞれの事業展開も可能です。次のステップとして、除去部分の機械化等具体化しており更なる広がりも有しております。

コア企業の会社概要

企業名・代表者	渡辺解体興業株式会社 代表取締役 渡邊 龍一	
所在地	東京都江東区亀戸2-3-21	
創業	昭和21年4月	
資本金・従業員数	10,000万円	140名
業種	はつり・解体工事業	
T E L	03-3684-5848	
F A X	03-3637-6867	
ホームページ	http://www.nabekai.co.jp	
e-mail	houdou@nabekai.co.jp	

PR等その他の情報

- ・平成19年5月14日東京工業大学にてプレス発表し、翌日の朝刊各紙に掲載され事業化前とは言え一日30件程度の問い合わせがあり反響の多さに事業化の手ごたえを感じております。
- ・平成19年10月のアスベスト対策環境展に出展予定です。
- ・平成20年4月中旬頃には、リース・フランチャイズ等の多角的事業展開を視野に入れております。